

こうふ町 議会だより

きびしい寒さの向こうに
春が待つ

新春の挨拶	2P
所管事務調査	4~7P
事務組合議会	8P
議員研修	9P
学園議会	10P
一般質問	11P~14P
住民懇談会ほか	15P



新春に向けて

さて、皆様もご存じのとおり、昨年には米が高騰し備蓄米の放出などがありました。今後の米の価格が非常に不透明な状況であり、町内の米農家にとつても今後の米の栽培・米価については最大の関心事となつてゐるのではないかと思います。

また、米価が上昇したからと言つてすぐに耕作面積が増やせる状況ではなく、現状維持をどうするのか議会としても個人、集落、行政と一体となつてこれを守る手段を考えていきます。

そして昨年の議会議員選挙から議員定数が一名減の9名となりましたが、皆様のご意見を行政に反映されるよう日々議員も活動しています。

町民の皆様も行政に対するご意見ご希望がありましたら、議員に声をかけて頂きたいと思います。

また、鳥取県選出の石破総理から高市総理へと政権が代わり、積極財政を方針の基本にした政策を展開しています。

ガソリン税の暫定税率廃止、物価高対策等私たちの生活に直結した対策がなされておりますが、それに伴う財源がどうなるか心配されるところです。

新春を迎え、今後とも町民の皆様の安心安全な生活を確保するために、議会として皆様のご理解ご指導を頂きながら、千支である馬の様に飛躍できるよう取り組んでまいります。

末筆ですが皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、ごあいさついたします。

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様にとりまして、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



一般会計予算総額 52億9,358万円 (補正額7,103万円増額)

12月定例会は12月9日に召集され、12月15日までの5日間開催されました。初日には一般会計補正予算（第6号、補正額5,371万円増額）など13議案が上程され、最終日には追加議案として一般会計補正予算（第7号、補正額1,732万円増額）などの上程があり合わせて15議案が原案通り可決されました。

【一般会計補正第6号 岁出増減の主な内容】

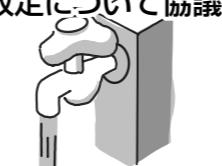
ふるさと納税事務費全般	7,850万円 (3億5,000万円)
地域おこし協力隊採用実績による調整	▲2,985万円 (6,468万円)
地方公共団体情報システム標準化に伴う機器（プリンタ）更新	152万円 (152万円)
生成AI発展事業費（第二世代交付金採択分）	700万円 (700万円)
コミュニティパーク土地造成関係	▲1,062万円 (1億2,685万円)
被保護者数増による扶助費（主に医療費）	1,534万円 (3,965万円)
地籍調査委託料	▲3,454万円 (4,209万円)
ナラ枯れ駆除防止委託料	▲104万円 (370万円)
神奈川サロン駐車場整備	73万円 (946万円)
災害防除工事（江尾貝田三ノ沢線）	300万円 (9,500万円)
簡易水道事業補助（消火栓整備1件）	97万円 (292万円)
まなびや縁側江府拠点委託料	▲226万円 (417万円)

()内は補正後の金額

(3) 令和8年2月18日発行

水道料金改定

料金改定について協議 開始



江尾駐在所

和8年1月移転



江府消防署

令和7年12月移転



鳥取西部風力 發電事業

議会は当事業の中止を
求めています



コミュニティ パーク事業

和9年12月開園予定



舊役場跡地 造成・分譲事業

令和9年4月
分譲地募集開始予定



本年は供用開始や進行中の公共施設が複数、そして風力発電事業者への対応や水道料金改定など、町政に関する注目ポイントが多くあります。

注町政のポイント

総務経済常任委員会

調査日 令和7年12月1日

所管事務調査報告書

● 売上について
令和6年度の利益は192万3926円、売上2631万1603円の内、「もち」の売り上げが330万円であり会員数が減少するなかで、加工品である「もち」の売り上げが増加している。

● 課題について
①町内に「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用しており、「もち」の販売が困難である。

● 要望について
①イベント外にも各種出店やキッチングカー、試食販売会で販賣いを創出されている。

②店舗外での販売力の強化
③イベントによる賑わいの創出
④駐車場の出口が上側で、逆走する車が多い。
⑤車止めがないためフェンスが壊れている。車止めを設置してほしい。

● 工事内容について
①「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用しており、「もち」の販売が困難である。

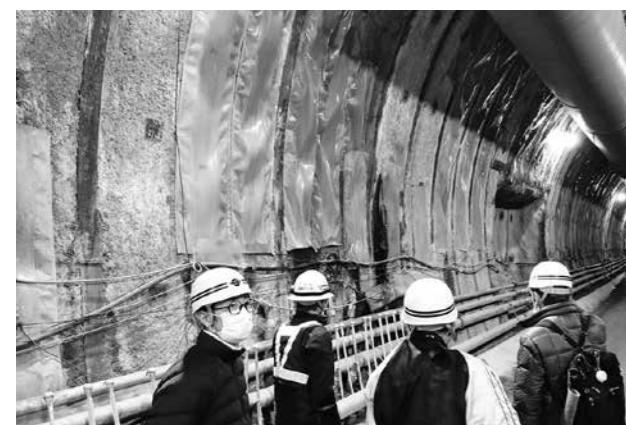
②店舗外での販売力の強化
③イベントによる賑わいの創出
④駐車場の出口が上側で、逆走する車が多い。
⑤車止めがないためフェンスが壊れている。車止めを設置してほしい。

⑥道の駅の設置者は町であるため、「中国道の駅連絡会」へ出席してほしい。

● 考察
①「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用しており、「もち」の販売が困難である。

②店舗外での販売力の強化
③イベントによる賑わいの創出
④駐車場の出口が上側で、逆走する車が多い。
⑤車止めがないためフェンスが壊れている。車止めを設置してほしい。

⑥道の駅の設置者は町であるため、「中国道の駅連絡会」へ出席してほしい。



● 課題について
①「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用しており、「もち」の販売が困難である。

②店舗外での販売力の強化
③イベントによる賑わいの創出
④駐車場の出口が上側で、逆走する車が多い。
⑤車止めがないためフェンスが壊れている。車止めを設置してほしい。

⑥道の駅の設置者は町であるため、「中国道の駅連絡会」へ出席してほしい。

● 工事内容について
①「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用しており、「もち」の販売が困難である。

②店舗外での販売力の強化
③イベントによる賑わいの創出
④駐車場の出口が上側で、逆走する車が多い。
⑤車止めがないためフェンスが壊れている。車止めを設置してほしい。

⑥道の駅の設置者は町であるため、「中国道の駅連絡会」へ出席してほしい。

● 考察
①「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用しており、「もち」の販売が困難である。

②店舗外での販売力の強化
③イベントによる賑わいの創出
④駐車場の出口が上側で、逆走する車が多い。
⑤車止めがないためフェンスが壊れている。車止めを設置してほしい。

⑥道の駅の設置者は町であるため、「中国道の駅連絡会」へ出席してほしい。

「総務経済常任委員会」は、合同会社みちくさ、株式会社奥大山ドリーム、安藤ハザマ・大豊建設・YAHATA特定建設工事共同企業体の3カ所の事務調査を行いました。



● 課題について
①「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用しており、「もち」の販売が困難である。

● 課題に対する対応策について
①「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用して、本町五丁目に使用している農業倉庫があり、「もち」専用施設として利用できないか確認すべき。

● 課題に対する対応策について
①「もち米」専用の乾燥機、精米機、施設等がないため個人対応または他町の施設を利用して、本町五丁目に使用している農業倉庫があり、「もち」専用施設として利用できないか確認すべき。

● 第II期ビジョンについて
①新規オリジナル商品の開発
②イベントによる賑わいの創出
③店舗外での販売力の強化

● 第II期ビジョンについて
①新規オリジナル商品の開発
②イベントによる賑わいの創出
③店舗外での販売力の強化

合同会社みちくさ

②会員数が高齢化等により減少している。それに伴い商品である野菜も減少している。

● 第II期ビジョンについて
①新規オリジナル商品の開発
②イベントによる賑わいの創出
③店舗外での販売力の強化

● 第II期ビジョンについて
①新規オリジナル商品の開発
②イベントによる賑わいの創出
③店舗外での販売力の強化

補正予算等

事務組合

議員研修・陳情

一般質問

住民懇談会ほか

＊議会に対する信頼形成が必要。休日議会、インター
ネット中継などの実施。
＊政策に強い議会。御用聞きだけなら、執行部に直接訴える時代である。
＊時代が変化しているから
昔の感覚では、なり手は見つからない、新しい挑戦、新しい発想をする必要があるのである。

＊定数をどう考えるか。議決する組織としては、多様性を尊重し、議論する

* 模がある（6から10）

* 報酬をめぐる議論では、その質と量に連携される。県議、市議は生活給的な発想、町村議はそうなつていよい。

2. 住民が求める地方議会・期待される地方議会とは何か。

* 地域の課題とは何か。町の現状はどうか。そこから政策テーマ・質問すべき。課題が見えてくる。全国的にどこでも人口減少している。

* 決して諦めず、冷笑的にならず、批判者にならず、現状と課題を捉えて答えを見つけていく。政策を実現する先にビジョンの達成がある。

研修会 開催

陳情の審査結果

受理番号及び 受理年月日	件 名	提出者	付託先	審議結果
陳情第8号 令和7年 8月22日	保育所等に対する社会福祉施設職員等 退職手当共済制度の公費助成の継続を 求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取県東伯郡湯梨浜町泊711 鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	教育民生常任委員会	採択
陳情第9号 令和7年 8月22日	保育士配置基準の引き上げの早期完全 実施とさらなる改善を求める意見書提出 を求める陳情書	鳥取県東伯郡湯梨浜町泊711 鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	教育民生常任委員会	採択

鳥取県町村議会議員研修会開催



日野病院組合議会

令和7年度11月25日、日野町役場において定例会が開催されました。主な日程は令和7年度病院事業会計補正予算でそれぞれ可決されました。

- 議案第21号：令和7年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第2号）

 - 補正概要
 - ・収益的支出補正 15,064千円増 計 1,996,784千円
 - 詳細 紙与費 11,068千円（パートタイム会計任用職員人件費）
 - 食材費 500千円（医療消耗品費）
 - 経費 3,496千円（修繕費他）

○議案第22号：令和7年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算（第1号）

 - 補正概要
 - ・在宅介護支援事業費 53千円増 計 92,534千円
 - ・資本的収入 1,300千円増 計 1,300千円
 - 内訳 企業債 1,300千円
 - ・資本的支出 1,308千円増 計 1,358千円
 - 内訳 建設改良費 1,380千円（介護保険システムクライアント）

○その他の議案：令和8年度病院長人事 現孝田病院長定年延長引続き院長承諾

 - ・職員採用 令和8年4月1日採用 看護師4名 放射線技師1名
 - ・整形外科医 奥野医師着任

日野町江府町日南町衛生施設組合議会

令和7年度11月10日、江府町役場において定例会が開催され、組合会計補正予算が上程され可決されました。

- 議案第 11 号：令和 7 年度日野町江府町日南町衛生施設組合会計補正予算（第 3 号）

○既定の総額に、歳入歳出それぞれ 8,547 千円を減額、予算総額を 209,136 千円とする。

歳入は分担金及び負担金を 8,547 千円減額するもので、繰越金増額分の減額と費用負担金の増額を調整するもの。

歳出は、ごみ処理費・修繕料 2,762 千円の増額と、予備費 11,309 千円の減額。

修繕料の増額は平成 10 年供用開始から使用している設備に修繕が必要となり、資金不足を補うもの。

予備費の減額は、歳入歳出の差額を調整するもの。

江府町の負担金減額	し尿処理分	ごみ処理分	合計 3,040 千円
-----------	-------	-------	-------------

鳥取県西部広域行政管理組合議会

令和7年11月27日、米子市淀江支所議場において定例会が開催され、各議案が承認されました。

- 議案第18号：鳥取県西部広域行政管理組合消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
・改正概要 江府消防署の移転に関するもの

○議案第19号：鳥取県西部広域行政管理組合営火葬場条例及び鳥取県西部広域行政管理組合リサイクルプラザ条例の一部を改正する条例の制定について
・火葬場使用料の改定 圏域内住居者（大人）12千円→18千円
・不燃物処理手数料の改定 10kg当たり R8.4.1～R9.3.31 178円→280円
R9.4.1～R10.3.31 280円→380円
R10.4.1～ 380円→480円

○議案第20号：鳥取県西部広域行政管理組合山麓堤条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案第 20 号 鳥取県西部広域行政管理組合一般会計歳入歳出予算と歳入歳出予算の制定
○收骨をしない旨の申し出があった場合の焼骨の処分に関する規定の整備

○議案第 21 号：鳥取県西部広域行政管理組合営火葬場の指定管理者の指定について
○指定管理者に指定するもの 東亞・宮本グループ
○指定期間 令和 8 年 4 月 1 日～令和 13 年 3 月 31 日

○議案第 22 号：鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第一回）
○補正額 405 万 5 千円増 総額 74 億 4757 万 2 千円
○補正内容 最終処分場建設候補地の測量、地質調査業務にかかる経費

○議案第 23 号：鳥取県西部広域行政管理組合一般会計の決算認定について
○決算内容 歳入総額 5,177,517 千円
歳出総額 5,111,467 千円 残金は翌年に繰越し

私のひとこと



長谷川 豊

地方神社と 地方自治

米子市から江府町に移住して10年が経ちました。

高校生の頃には遊び目的で往来、大学在学中に日野クラブ（ソフトテニス）に顔を出すようになり卒後そのまま所属、当

実家兼社務所がある米子市を行つたり来たりの二本題となりますが、地

方神社と地方自治はかつて地域社会の両輪として機能していましたが「少

子高齢社会、多様性といふ名の下に市民権を得た非帰属意識、変化の過程を示す「化」という言葉で誤魔化さず現状を直視しなければならない。

うに、地震が発生しました。西部地震を思い出し心配をしましたが、幸いなことに大きな被害もなく安心いたしました。全国各地でも、地震・火災が多発しています。災害は、いつどこで発生するかわかりません。日頃から防災について考えておくことが必要だと感じました。佐川地区に建設予定のコミュニティパーク、「まちの本屋」を中心として江尾駅前の活性化事業について、より良いものになるよう、住民の皆様のご意見をふまえ議員一同議論を重ねてまいります。また、風力発電建設の動向を注視し、皆様のご期待に添えるよう、より一層努力したいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。



計を要しますが個人が出て、現状を前提とした神社運営のあり方を模索したい

来る事ではあります。まずは意識から改めて、現状を前進させたい

広報公聴常任委員会
委員長 川端登志一
副委員長 森田哲也
委員 芦立喜男
前川文洋

あとがき